国立研究開発法人科学技術振興機構 令和２年度(2020 年度）第２回契約監視委員会 議事要旨

開催期間：令和 2 年 12 月 23 日（水）13:30～16:00
開催方法：オンライン開催
委員：井上委員長、青山委員、岩崎委員、江上委員、奥委員、田中委員、徳永委員、柳澤委員
説明者：契約部長、契約調整課長、契約業務課長、研究契約室長、契約部関係者、調達要求部署担当者
オブザーバー：甲田理事、石正監事、倉田副理事、監査・法務部長
事務局：監査課長、監査課課員

○契約監視委員会規則第 6 条第 2 項の規定による構成委員の 2 分の 1 以上の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

【議事内容】

１．令和 2 年度第 1 回契約監視委員会議事要旨確認

資料３に基づき、前回委員会（令和２年５月２５日～８月１２日メール開催）の議事要旨の確認が行われた。

２．調達等合理化計画等の公表について

資料４に基づき、契約部より報告があった。

３．JST の契約状況について（令和２年４月～８月）

資料５に基づき、契約部より報告があった。主な質疑と応答は以下のとおり。

（委員）令和２年度（８月末まで）の契約の内訳をみると、競争性のない随意契約が金額ベースで 9.1%と若干多いが、その理由は何か。

（JST）土地建物賃貸借料に係る契約を年度始めに行うため、年間を通した場合に比べ、競争性のない随意契約の金額ベースの比率が大きくなっている。ちなみに前年度の８月末と比べると、未来館の修繕工事がなかったため、むしろ比率は若干小さくなっている。

（委員）１者応札・応募の割合が年度の始めに多いことについて、具体的な事例を示してほしい。また、調査・分析、業務支援などはどうしても従来の業務が有利になる。調査であれば調査項目を分ける、業務支援ではブレイクダウンして個々に応札しやすくするなど、JST の各部門ではなく、JST 全体でまとめてメリットを出して多くの会社に入札させるなどの工夫を行っているのか。

（JST）１者応札・応募の割合が年度の始めに多くなる理由は、毎年継続するシステム運用や保守などの業務が年度始めに集中するためである。調査・分析については、追跡調査を毎年やっているものが多く、条件を変えると追跡調査の意味をなさなくなるので工夫は難しい。業務支援については、以前応札しやすいように分割したものがあったが、全体的に見てかえってかえって非効率となったので再度１本にまとめることとなったようなものもあるなど、こちらも難しい。

（委員）関係法人との契約の状況について、競争入札を行った６件のうち、１者応札・応募は何件あったのか。

また、国所管の公益法人との契約の状況について、競争入札等の競争性のある調達契約５件のうち、１者応札・応募は何件あったのか。

（JST）両者とも複数者応札になったものは１件だけであった。

（委員）その辺り改善の余地はあると考えるか。

（JST）改善するのは難しい状況にある。

（委員）入札説明会をオンラインで行うなど、COVID-19 の影響で変更を考えていることはあるか。

（JST）現状ではとくに大きく変わったところはない。当機構では以前より郵便入札を認めているため、これで対応できている。現在、印鑑の省略が可能なものはないか見直し中。また、FAX で送っていた資料について、電子メールに置き換えられないか検討しているところである。

（委員）競争性のない随意契約で行っている電気やガス、また、郵便なども参加者確認公募の対象にしてよいのでは。

（JST）競争性のない随意契約となっている光熱水料については、賃貸借契約に基づき使用料相当分を貸し主に支払っているものである。現在でも、電力会社などと直接契約できるものについては入札を行っている。宅急便やメール便については入札を行っているが、料金後納郵便のように１者しか扱っていないものについては競争性のない随意契約にせざるを得ない。

４．自己点検結果について（令和２年４月～８月）

資料６に基づき、契約部より報告があった。特に問題となるものはなかった。

５．令和２年度個別契約案件の点検について（令和２年４月～８月）

資料７及び８に基づき、点検候補選定基準により選定された４つの個別契約案件についての点検が行われた。それぞれについて特に問題となるものはなかった。主な質疑と応答は以下のとおり。

案件①：　令和２年度経理システム運用支援・保守業務

（委員）例えば１者応札という結果になる要素とか、他のシステムとの相関関係のような審議に資するポイントにより重点をあててご説明をお願いしたい。

（JST）この運用業者は、この経理システムのアプリケーションを開発した業者で、著作権を持っているので、入札しても開発業者しか応札できないのではないかと考えている。

（委員）平成 27 年度の次期経理システムの開発時の入札時には何者の応札があったか。

（JST）３者。

（委員）今回１者しか応札がなかったのは、システムの運用に係る契約なので、受注者が開発元と調整、承認を得る必要があることから、なかなか他者が入りづらいような事情にあったということか。

（JST）ご指摘のとおり。

（委員）このシステムのライフサイクルは何年ぐらいで考えているか、次のリプレースの予定はないか。

（JST）明確に次のリプレースは考えていないが、OS のサポートが切れる時期が目安となるかと思っている。

（委員）当初の機器導入と数年間の保守を併せて提案していただくというやり方があると思うが、今回は機器の導入とそれ以降の毎年の運用支援、保守業務を別物と考えていたのか。保守も含めて提案していただくということであれば、同額ないし当初決まった額で次年度以降について随意契約で保守業務をできるとい

うように認識しているが、この点についてどう考えるか。

（JST）当時は開発と運用保守を分けて入札を行った。その理由は、会計基準は年々変わること、経理の運用の仕方も変わってくるので、それらを踏まえて開発と運用保守を切り分けたことによる。次のシステムに切り替えるタイミングにおいては、ご指摘いただいた点も踏まえて検討したい。

（委員）毎年できるだけ高止まりを防ぐやり方を検討すべしと考える。

案件②：　令和２年度日本人頻度データ再解析支援業務

（委員）審査結果の技術評価点について、どういう条件であれば合格となるのか基準はあるか。

（JST）入札公告を出した際に総合評価基準を公開している。この基準を満たしていれば最低限の合格点は得られることとなるが、それに加えて提案内容の優劣に応じた加算点がつけられる。これらについて総合評価委員会にて評価して評点を出している。

（委員）バイオサイエンスのデータを取り扱う需要は多くあると思われる。同様のことを求めているところがシステムをどこに出しているのか調べ、視野を広げてみた上で本当に１者しかいないかどうか調べることも必要ではないか。

（JST）参考見積書を提出したが入札には参加しなかった業者から、不参加理由をヒアリングしたところ、繁忙期のため提案書作成のための人員を割けず、経営判断により入札を見合わせたとのことだった。

（委員）次回からその辺をどう対応したらよいか、さらに考えを進めてほしい。

（委員）入札５回目で不落の場合、要求事項をそのままにして業者にだけ価格を下げさせるのか、必要事項の見直しをかけてお互い合意できる条件に変えるのか。ファンディングエージェンシーはそれなりのパワーを持っているので、業者との交渉というのは取り扱い方に非常に気をつけていただきたいがその点はどうなのか。

（JST）通常、不落随契交渉（条件はそのままで価格だけ交渉）を行うが、それでまとまらない場合には交渉を打ち切って仕切り直しとし、再度公告入札とする。

案件③：　戦略的推進事業 CREST に係る追跡調査

案件④：　戦略的推進事業 ERATO に係る追跡調査

（委員）CREST・さきがけと ERATO で（調査・評価のやり方の）方向性が違っているのはなぜか。

（JST）CREST・さきがけと ERATO については、それぞれ事業の特質が異っている。CREST・さきがけについては１つの研究領域に CREST では１０～１５の、さきがけについては２０～３０ぐらいの研究課題がある。その中で研究課題についてそれぞれよく調査してまとめなければならないので、業者で体制を作るのが難しいという課題があった。ERATO は１つのプロジェクトを追跡調査する形なのでまだ良いのかもしれないが、それでもスペック的に高いところもあったかもしれないので、その点を見直すことによって、業者が参加しやすいような形にできないか検討している。

（委員）内製で行ってかえってコストが高くなってしまうということはないか？

（JST）現状スタッフの専門性を活かせば、業者がこれまでやってきたインタビューや報告書のとりまとめは十分に可能ではないかと思う。ERATO と CREST・さきがけを一気にやるのは難しいので段階的にやっていこうと考えている。

（委員）実際の業務のやり方の中で、１者応札が減る方向での検討をされているので、次年度以降どういう結果になったか契約監視委員会の中でもウォッチするような形で、機会があればその状況を報告してほしい。

６．その他

次回の契約監視委員会（令和２年度第３回契約監視委員会）は令和３年３月５日 10:00～12:00 に行うこととなった。

（以　上）

【配付資料】

資料１　契約監視委員会 委員名簿
資料２　契約監視委員会規則
資料３　令和２年度第１回契約監視委員会議事要旨
資料４－１　令和元年度 調達等合理化計画 自己評価結果公表
資料４－２　令和２年度 調達等合理化計画公表
資料４－３　令和元年度 公益法人に対する契約の点検結果公表
資料５　契約状況について
資料６－１　自己点検結果等について
資料６－２　点検項目表（自己点検・チェック用）
資料７－１　点検候補契約案件一覧（1 者応札・応募）
資料７－２　点検候補契約案件一覧（競争性のない随意契約）
資料７－３　点検候補契約案件一覧（少額随契）
資料８－１　個別契約案件一覧（点検案件のみ）
資料８－２　点検案件①（1 者応札・応募）
資料８－３　点検案件②（1 者応札・応募）
資料８－４　点検案件③（1 者応札・応募）
資料８－５　点検案件④（1 者応札・応募）
参考　点検候補選定基準（1 者応札・応募、競争性のない随意契約及び少額随契）